

【震災発生翌日～現在】

●居住地は大きな被害はほとんどなかった

今、勤務している浦安市は液状化の被害が大きく、大変な状況のエリアも多かったのですが、私の住所ではさほど大きな被害はありませんでした。幸い、精神的な影響なども特にありませんでした。

●飲料水や食料は品薄に

ただ、飲料水や食料が近所のコンビニやスーパーでは品薄になっていたように思います。普段から、飲料水は2リットルのペットボトル6本入りのものを1ケース備蓄していました。食料は菓子パン程度のものを用意していました。特別なことはあまりしていなかったですね。

●上下水道ともに無事で、翌日から普段の状態に

断水もなくて、インフラ関係で特に困ったことはありませんでした。ただ、いつ断水するかわからなかったのも、ある程度水を溜めておきました。実際に影響があったのは、計画停電ぐらいでしょうか。上下水道とも使えましたし、浦安市とは状況がだいぶ違っていたのだと思います。ですので、生活も翌日からは普段と同じように過ごしていたように思います。

●石巻の方の言葉に感化される

仕事で、石巻に引率で行った時に地元のみなさんがおっしゃっていたのですが、「地震が起きたら、それから津波が来る可能性があったら、何が何でも上に行け、考えずに真っ先に上に行け」ということでした。津波を経験していないために、興味本位で港の方などへ行ってしまうような人がいるのではと思うのですが……。私もその一人でしたが、このお話を聞いてからは、そんなことはせずに一目散に山の方など、とにかく高い所へ行かないと思いました。